

基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.96 更新記録

2012/03/06
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 基盤地図情報XML作成など

- シェープファイルから XML ファイルへ変換する際に、XML ファイルに記録する座標参照系について「jgd2000」あるいは「jgd2011」をダイアログで指定できるようにしました。デフォルトは「jgd2011」です。

基盤地図情報XML作成

製品仕様書
 第2.0版 第3.0版

シェープファイル
入力フォルダ 選択...

シェープファイルの座標系
 平面直角座標系 十進緯度経度

平面直角座標系
系番号 6.京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県

基盤地図情報JPGIS-XML
出力フォルダ 選択...

座標参照系の測地原子
 jgd2000 jgd2011

その他
市区町村名 XMLファイル名の先頭文字列(例〇〇市)
最初の地物ID 1
XMLファイルのサイズ 299 x1000x1000バイトを超えたら分割する
編集前フォルダ 選択...
 要素[所属三次メッシュ]は出力しない
 [名称]中のセミコロンをカンマにする

共通項目(GI要素の属性)
 製品仕様書第2.0あるいは3.0版 任意
xsi:schemaLocation D:/2008/FGD_CDB_Schema2.0 FGD_CDB_Schema2.0.xsc
xmlns:jps http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2.0_2008-03
xmlns http://www.gsi.go.jp/GIS/FGD/2008/FGD_CDB_Schema2.0
version 1.0
timeStamp 2008-10-10T20:08:10

共通項目(1)
識別コード 地物IDとuuidに記録(例10-00200)
管理番号 地物IDとuuidに記録(例7-123)
編集作業番号 exchangeMetadataに記録(例Haabcccc-H00)
基盤地図情報メタデータID exchangeMetadataに記録(例8-456)
作成日 exchangeMetadataに記録(例2008-07-11)
存在期間_自 地物の<存在期間_自>に記録(例2008-03-31)
整備完了日 地物の<整備完了日>に記録(例2008-07-11)
行政コード シェープファイルの属性がなければ設定する

共通項目(2)
測量成果等メタデータID XXXXXX 地物の<出典メタデータ>に記録(例8-192)
整備作業番号 XXXXXX 地物の<整備作業番号>に記録(例Haabcccc-Sdd)
 作業単位は複数
作業単位のポリゴンシェープファイル 選択...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

【座標参照系の測地原子】

作成する XML ファイルの<jps:CRS uuidref="fguuuid:jgd2011.bl"/>に「jgd2000」あるいは「jgd2011」のどちらを記録するかを指定します。